

### 1. 授業の概要

この授業は人間社会デザインコースの専門教育科目である。

授業の目的は次の通りである。グローバル化が進んでいる中、ローカル的な地域の役割はむしろ大きくなり、地域研究はますます重要になる。本講義では、地域学の基本概念を説明した上、地域研究になくてはならない地図について、その読み方・作り方と考え方を解説し、地図利用のスキルを向上させる。なお、この科目は課程認定科目である。

この授業では、①地域学の基本概念を理解すること、②地図を正しく解読することができること、③地図の作り方を知り、地域研究に必要な主題図などの作成を学ぶことを、到達目標とした。

紙面の関係で授業のスケジュールを省略。課外学習については、moodle で小レポートや地図などを提出させた。

講義内容に関連して、フィールドワークを実施した。調査内容についてそれぞれの学生にまとめてもらい、そしてグループ単位で発表内容を再構成して発表してもらった。

### 2. 授業評価の方法

この授業の履修登録者数は16名であった。授業評価について、自由記述方式で学生に意見やコメントを求めた。2011年1月25日から2月14日にかけてMoodleに自由に投稿してもらった。13人の受講者から次の意見などが提出された。

### 3. 授業評価の結果

学生のコメントをそのまま掲載する。次年度の授業改善に生かしたい。

この授業では、地図について様々なことが学べました。自分の知らない形式の地図を多く目にすることができ、よかったです。フィールドワークについては、普段知ることのできない土地の仕組みや、街の機能性を体感できました。グループ発表においては、自分とは違う視点から物事を共有できました。教科書にそって授業が進められていてよかったですと思います。授業の進度も調度よかったように感じました（匿名）。

内容については、地図について今まで知らなかったことを多く知ることができたのでとても有意義な授業だったと思います。今まで日常生活を送るなかで目に入っていたはずなのに深く気にして

いなかった地図について、詳しくわかりやすく学べました。難易度はそれほど高くなかったと思います。所々わかりにくいところもありましたが、おおむね教科書さえしっかりとさらっておけば理解できます。フィールドワークは楽しかったです。寒かったうえ、時間が遅かったので最後のほうは疲れていましたが、みんなで何度も通ったことのある道を見直していくことで新たに気づくことや、見落としていたことに気づくことができました。歩いて行ったのでゆっくりと見ることができたのもよかったですと思います。ただ帰りはめんどくさいです。グループ発表も、班のメンバーがしっかりとそれぞれの役割を果たしていけば問題なく進められると思います（匿名）。

この授業を通して、地図は私たちの身近なところにあふれていて、そこには様々な情報が書かれている、そして時には、地図は私たちを騙していることもあるということがわかりました。また、授業で行ったフィールドワークでは、ふだん私たちが暮らす松山にも、気付かないところにいろいろと“工夫”があり、観光地域の顔を作ろうとする住民の努力を感じました。昔の地図と現在の地図を順番に眺めていった時、都市開発の情景が頭の中に浮かんできて、たった1枚の紙で歴史を物語っている気がして感動しました（K. I.）。

この授業の内容は、おもに地図の利用についてで、はじめは、地図なんか小学校で学んでいるようなことをわざわざ大学でする必要はあるのかなと思っていました。しかし、この授業の内容を学ぶうちに、今までと地図の見方がガラッと変わってしまいました。とくに地図で嘘をつく方法があるなんて思いもしなかったです。フィールドワークも、松山に18年住んでいたにもかかわらずさまざまな発見ができることに気づき、地図はとても面白い学問なのだと思います。また、グループ発表もチームのみんなと知識を共有でき、非常に良い経験になりました（DDD）。

この授業は地域学入門ということで地図の読み方・作り方・考え方などを学びながら地域に触れ、地域を研究するという内容だった。フィールドワークでは松山市を歩き、地域の特性など初めて知ったことがたくさんありとても役立つものになった。また班ごとにそれぞれ違った視点から発表しており、とても充実していたフィールドワー

クであったのではないかと感じた。地図にはさまざまな種類があり、地図によって使われる意義も違うと思う。そういった点を今後より勉強していきたいと感じた (SHINTA)。

私は、この地域学入門という授業を通して、座学で学ぶ面白さやフィールドワークでしか学ぶことのできない新たな発見など様々なことを得ることができた。フィールドワークでは、全員同じ道を辿ったのに一人一人捕らえ方は違って、それがグループ発表に現れ、それぞれのグループに特色があり聞いていてとても面白い発表であった。発表準備の段階でも、もう一度フィールドワークで訪れた場所に行ったり、異なる場所を訪れたりして、より内容を深めることができた。授業内容に関して、ある授業では、地図は場所を知る上で大切な情報源であるということや学んだり、一方で地図に誤魔化されていることを学んだりと毎回新たな考えが生まれてとても楽しい授業である (匿名)。

張先生の授業は説明がとても分かりやすくて助かりました。私は昔から地理系があまり得意ではなかったので授業についていけなかったらどうしようという不安もありましたがみごと解消されました。フィールドワークではよく通る道なのに初めて知ることがとても多くてびっくりしました。行って良かったです。これからは地図を見るときただ見るのではなく良いところ悪いところを見つけてみようと思いました (M.S.)。

今期私は地域学入門の授業を受けて、「地域学」のイメージが変わったように思います。今までは難しいイメージしかなかった地域学でしたが、ただ地図と向かい合っただけの座学ではなく、「なぜそこにその施設があるのか」を考えたり、地図の違った見方を学べたように思います。私が特に印象に残っているのは、二人組になって一人が地図の内容を口頭で説明し、もう一人が説明を頼りに地図を書く、というワークです。そのワークでは、私たちが普段何かの位置を説明したり思い浮かべる時は、ある基準を決め、その基準に従って行っている、ということを実感できました。これからも、地図を見て、そこから単に書いてある情報だけを読み取るのではなく、もっといろいろなことを知っていききたいです (匿名)。

『地域学入門』は、毎日が充実し興味深い内容ばかりでした。地図から地域を学ぶということを中心に、地図の種類・目的や作成者側の観点に立った地図分析等、地図を有効利用するための知識を多く得ることができました。また、様々な

ペア活動やグループ活動に参加し、コミュニケーション力も養われたように思います。実際に外を歩き改めて地域を調べたフィールドワークについては、何気ない景色に隠れた地域の数多くの特色を発見できた等、とても有意義な体験となりました (匿名)。

地域学入門では主にたくさんの地図に触れることができて楽しかったです。航空機の地図を見たり、ペアワークで地図の情報から地図を実際に書いたり、作業することが多くて身を持って学習できたと思います。また、少人数制の授業だったので自分が発言できる機械も多く持てたし、人の意見もたくさん吸収できたと思います。先生との距離が近いことでより意欲が湧き、授業に対する意識が高まりました (匿名)。

地域学入門の授業は、主に座学でした。しかし、様々な地図を用いたりすることでいろいろな変化や発見に富んでいておもしろかったです。また毎回の課題も印象に残っています。特に取り組むのが楽しかったものの1つは「身近に存在する面白い地図を提出しなさい。」というものでした。授業時に課題を確認されるので、他の人の提出物や意見を知ることができたのがうれしかったです。フィールドワークが1度しかなかったのが残念です (Y.T.)。

私はこの授業を通して地図に関する多くの知識を身につけることができた。授業のスピードや難易度はちょうど良く、また教科書による学習のみならず、実際にフィールドワークへ行くことによってより多くの学びや発見を得ることができた。自分の目で見て感じることで新たな疑問や興味が湧くのと同時に、この授業に対する意欲も高まったと感じる。さらに、グループ発表では他者と協力することで楽しく授業に取り組むことができた (Y.U.)。

この授業を履修して、特に印象に残るのは、フィールドワークをしたことです。そして、たくさんしたことについて知ることができました。それぞれの地域は、地域それぞれの働きがあること、地図には、たくさんの働き情報、種類があること。そして、松山について少し知ることができました。また、フィールドワークの内容をグループで資料を作り発表しました。グループのみんなと資料をつくる時に内容をさらに深めることができました。教科書は、わかりやすかったです。進め方も、丁寧に先生が教えてくれて、わかりやすかったです。実際に地図を描いてみたりして、とても楽しく授業を受けることができました (匿名)。